

# 金魚のひるね

おそく

ア カイ ペ ペ キ タ カ ツー イ イ キ ン ギ ヨ  
あ か い き ん ぎ よ は あ ふ ー く を ひ と つ

オ メ メ ヲ サ マ セ バ ゴ チ ソ ウ ス ル ー ズ  
ひ ー る ね う と う と ゆ め か ら さ め 一 た

# 金魚のひるね

大阪市金蘭會高女教官

振附 久保富次郎

この唱歌遊技を教へるにはまづ

甲、豫備教授として次の教授をしてほしい。

(イ)金魚の御馳走は何であるか。

(ロ)幼兒の構成的想像の満足として

赤いおべんのこと……

晝寝のことなどの取扱に注意すること

(ハ)兩手を側舉して動して金魚の泳ぐ状の動作の練習

(ニ)兩手を側舉して動しながら左に一廻する練習

(ホ)兩手を前からあげて側下する練習

乙、解説

一、隊形は隨意

圖 三 第



圖 二 第



圖 一 第



圖 六 第



圖 五 第



圖 四 第



圖 九 第



圖 八 第



圖 七 第



あゝ……第一圖の如く左手を肘から上にまげ右手を肩平に横にあげると共に、右足を後にあげて左足にてかるとんで調子をとる、

(金魚の泳ぐさま)

かい……第二圖の如く前の反對の動作をする

べゝきた……「あゝかい」と同じ

可愛い……第三圖の如く兩手胸にする

金魚……第四圖の如く、兩人差指にて右下を指す。

あめゝを……第五圖の如く左足をひいて蹲き右手、次に左手にて目をこする。

さませば……「あめゝを」と同じ

ごちさう……立つて第六圖の如く左掌を上向にして胸前にあげ、その上に右手をつまみでのせる

するぞ……第七圖の如く前の姿勢より右手を前下になげて手を開く(麩を投げる状)

二、赤い金魚は……「一」の「赤いべゝきた」の動作をしながら第八圖の如く右に一廻して正面に復する。

あぶくを……口の前にて拍手一つ

ひとつ……右食指を立て、胸前にだす

ひるね……第九圖の如く左足をひきて蹲きてう

とくとねるさま。

うとくゆめから……第九圖の如き姿勢を保つさまた……兩手を前から上にあげて兩横に下して立つ。

一、注意……(1)動作は技巧なく、極めて自然に。

(2)運動を大きく、元氣よく。